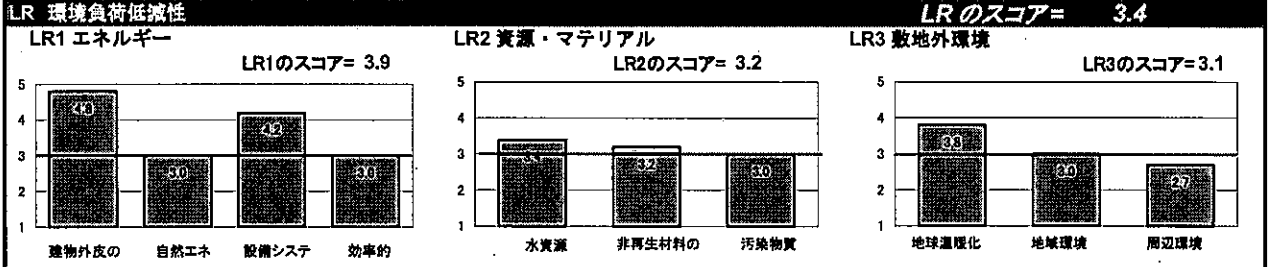
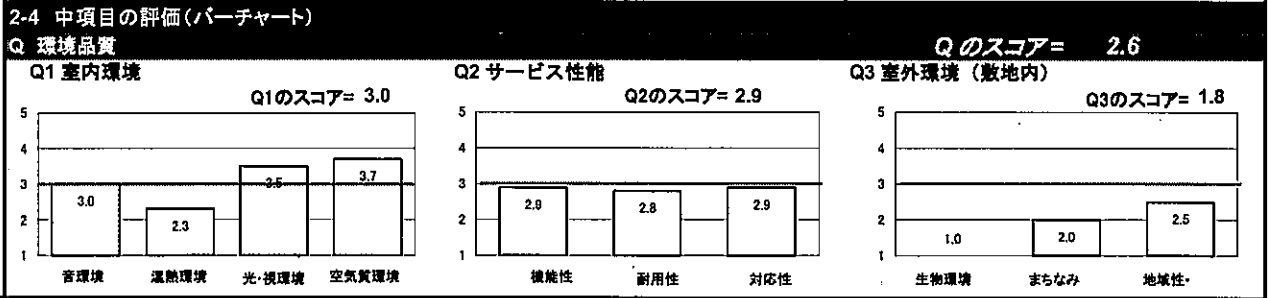
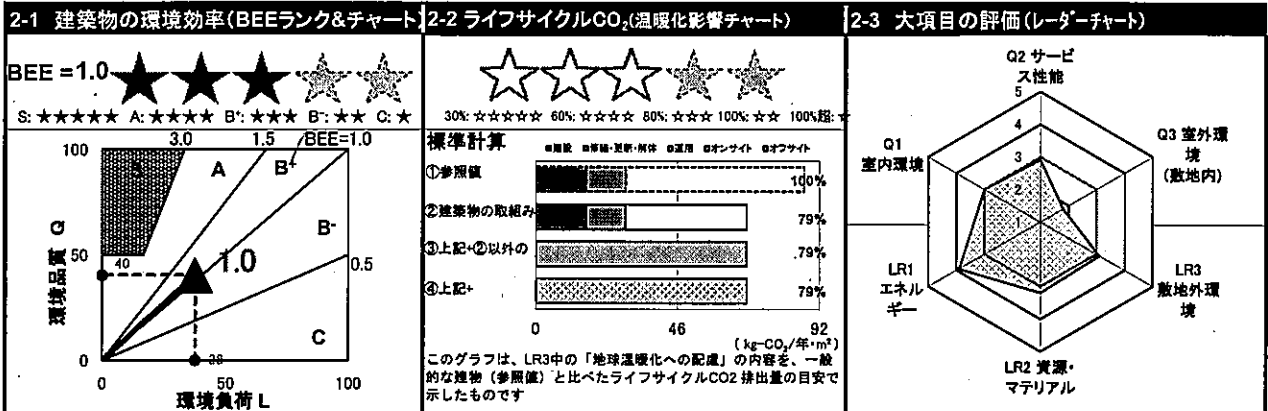


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本コムシス京都南TS新築	階数	地上4F
建設地	京都府長岡京市神足拾貳2番3、3番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,350時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年4月21日
敷地面積	4,307㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社 流通
建築面積	1,752㎡	確認日	2023年4月21日
延床面積	3,832㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事務所 梶原 勝敏



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
執務室は昼光率が高く、自然換気有効開口面積が大きいうえ、リフレッシュスペースも広く取られているため、建物利用者が心地良く過ごせる建物となっている。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
昼光率: 8.78 自然換気有効開口面積率/床面積=0.27	リフレッシュスペース/執務スペース=18%と、レストスペースが広く取られているうえ、休憩室等には自動販売機の設置も計画している。	できる限り推奨を施している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI <sub>m</sub> : 0.82 BEI <sub>m</sub> : 0.68	LGS+GB-R 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。また、再利用できるユニット部材(OAフロア)を採用している。	建物利用者のための適切な量の自転車置場や駐車スペースが確保されている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される